

BIND DNS 設定: 5.

バーチャルドメインのプライマリーゾーン追加(ゾーンオプションの編集)

追加したプライマリーゾーンについて、オプションの編集を実施いたします。

下記にて追加したプライマリーゾーンまで移動いたします。

[サーバ] → [BIND DNS サーバ] → [example.com]

ログイン名: root

Webmin
システム
サーバ

Apache Webサーバ
BIND DNS サーバ
CVS サーバ
Dovecot IMAP/POP3 Server
MySQL データベース サーバ
Postfix の設定
PostgreSQL データベース サーバ
Proxmox Mail Filter
SSH サーバ
SpamAssassin Mail Filter
Vsftpd
Webalizer Logfile Analysis
ユーザ E メールを読む

その他
ネットワーク
ハードウェア
Cluster
Un-used Modules

Search:

View Module's Logs
システム情報
Refresh Modules
ログアウト

モジュール設定

BIND DNS サーバ

BIND version 9.7.3, under chroot /var/named/chroot

Start BIND
Search Docs..

グローバル サーバ オプション

他の DNS サーバ
ログとエラー
アクセス制御リスト
ファイルとディレクトリ
転送
アドレスとトポロジ

その他のオプション
コントロールインターフェイス
DNSキー
ゾーン デフォルト
クラスタースレーブサーバ
RNDGの設定

DNSSEC Verification
DNSSEC Key Re-Signing
Check BIND Config
設定ファイルの編集

既存の DNS ゾーン

Select all. | Invert selection. | 新規のマスターゾーンを作成 | 新規のスレーブゾーンを作成 | 新規のスタブゾーンを作成 | 新規の転送ゾーンを作成 | Create delegation zone. | Create zones from batch file.

ルートゾーン
0
0000::1
127.0.0.1
example.com
localhost
localhost.localdomain
prox.jp

Select all. | Invert selection. | 新規のマスターゾーンを作成 | 新規のスレーブゾーンを作成 | 新規のスタブゾーンを作成 | 新規の転送ゾーンを作成 | Create delegation zone. | Create zones from batch file.

選択したものを削除 | 選択したレコードを更新 | 選択したレコードに追加 | Delete Records in Selected

1. マスターゾーンの編集画面より、[ゾーンオプションの編集]
へと進み、必要な情報を入力しまして、

[作成] いたします。

BIND DNS 設定: 5.

バーチャルドメインのプライマリーゾーン追加(ゾーンオプションの編集)

モジュール インデックス

ゾーン オプション

Start BIND

example.com

ゾーン オプション	
名前を調べますか？ ☐ 警告 ☐ 失敗 ☐ 無視 ☒ デフォルト	変更をスレープに通知しますか？ ☐ はい ☐ いいえ ☒ デフォルト
次からの更新を許可.. none	次からの転送を許可.. 210.143.106.4
次からのクエリーを許可.. any	スレープに通知..

保存

← レコードの種類に戻る

次からの更新を許可.. : none

次からのクエリーを許可.. : any

次からの転送を許可.. : 210.143.106.4

一意的なソリューション ID: #1019

製作者: Prox System design

最終更新: 2014-10-29 04:45